

# 令和2年度 学校運営連絡協議会実施報告

## 1 組織

- (1) 都立日本橋高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(教務主任兼務)＝事務局長、教務部員1名 計2名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当、生活指導担当、進路指導担当)、書記(教務部教員) 計7名
- (4) 協議委員の構成  
保護者代表(P T A)、同窓会代表、近隣中学校長、近隣町会長、地域青少年育成委員  
地域官公署 計8名

## 2 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他  
第1回 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止  
第2回 令和2年11月26日(木) 内部委員7名、協議委員6名  
本年度前半の教育活動に関する報告  
学校教育活動点検アンケート実施について  
第3回 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

### 学校教育活動点検アンケート実施報告

- (1) 学校評価の観点  
学校生活への満足度、広報活動の周知、教育目標等の周知・認識、学習指導、生活指導、キャリア教育、特別活動、美化清掃活動、本校が取り組んでいく方向性、教職員のライフ・ワーク・バランスの取り組み 等。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模  
・ 12月 生徒・保護者 対象アンケート実施。
- (3) 主な評価項目  
・ 学校生活への満足度、学校経営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、美化活動などについて、保護者、生徒、教職員がどのように評価しているかを観点とした。地域社会に対しては、本校生徒の様子や本校の情報発信などを観点とした。  
・ 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休校を含む変則的な教育活動における生徒の学力向上を喫緊の課題として取り組んできた。  
このことについて、保護者、生徒、教職員がどのように評価しているかを観点とした。
- (4) 評価結果の概要  
・ 回答数：生徒622名(82.6%)、保護者175名(23.2%)

### 生徒

- ・ コロナ禍による臨時休校もあり。本校のホームページの閲覧率が(77.3%→89.7%)と10%以上増加した。
- ・ 部活動に規制がかかっていたにもかかわらず、満足度が向上した。各種規制下生徒が、工夫を凝らし熱心に活動して以下事が伺われる。
- ・ 各設問に対する評価は、学年ごとの差異はあまり見られないが、「現在の学校生活に満足している」の設問に関しては、突出して1学年生徒90%以上が満足している。
- ・ 全学年を通して本校の教育目標及び学校経営計画の浸透率が低い。
- ・ 生活指導に対する理解度が高い。

### 保護者

- ・ 回答総数が少なく、保護者の総意としての学校に対する評価とは言えなくなっている。

改善の必要がある。

- ・ コロナ禍による臨時休校も在り本校HPを閲覧する保護者が例年より多くなっている。時を置かないHPを通じての情報発信の重要である。
- ・ コロナウイルス感染症拡大防止に伴う通常と異なる教育活動に対する関心が高い。
- ・ 質問項目「本校に入学してよかった」に対する肯定的な回答が高く、保護者の本校に対する満足度がうかがえる。
- ・ 進路指導についての期待が大きい。

(5) 評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）

- ・ 生徒、保護者の本校に対する満足度が高い。
- ・ 日常的に本校HPを閲覧しており、時を置かない情報発信が重要である。
- ・ 進路指導に対する期待が大きい。

#### 4 アンケートの成果と課題

(1) アンケートを実施して得られた成果

- ・ 生活指導方針が理解されていることが分かった。
- ・ 進路指導に対する期待の大きさ。

(2) アンケートを実施して明らかとなった課題

- ・ 本校の教育目標及び学校経営計画の周知が必要である。
- ・ HP更新頻度を上げる必要性。

#### 5 改善事項

(1) 学校経営

- ・ 学校ホームページによる、広報活動を積極的にを行い、保護者、中学生、地域への情報発信を積極的に行う。更新頻度を、さらに頻繁にする。
- ・ ライフ・ワーク・バランスの改善のために働き方改革を進める必要がある。

(2) 学習指導

- ・ 授業研究協議会、学カスタンダード事業計画に基づき、授業内容・ICT活用等指導方法を工夫し、教員一人一人の授業力向上に努める。アクティブラーニングを活用するなどわかる授業を展開する。
- ・ オンライン授業の積極的な活用。
- ・ 進学指導を期待している生徒が、第一志望校に一般試験で合格できる学力を身に付けられるように、受験対応選択科目を設置し課題・演習を取り入れた受験対応型の高レベル授業の実施。

(3) 特別活動

- ・ コロナ禍での活動工夫。

(4) 生活指導

- ・ 生徒・保護者共に本校の生活指導に対する理解度が高く、現在の指導を維持継続させる。
- ・ 継続して授業規律の徹底を進める。

(5) 進路指導

- ・ 進路指導部が中心となり全教員での計画的、継続的なキャリア教育を推進する。
- ・ 外部人材を活用したキャリア教育について内容を見直し、より効果的な進路行事として取り組んでいく。

(6) 健康・安全

- ・ 校内美化・清掃活動を一層推進し、清潔で快適な学習環境作りを推進する。
- ・ 防災教育を推進し(向島消防署等との連携 地域との連携)、自助・共助の精神を養う。
- ・ 新入生全員面接等からスクールカウンセラーを活用し、生徒のメンタルサポート体制を充実させる。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 7人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わな い	分からない	無回答
5	2					

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 0人 企画調整会議 0回 0人